

## 令和4年度 猪苗代町教育委員会

### 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書（概要）

#### 1 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正が行われ、新たに教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされた。

（法第26条第1項）また、上記の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされている。（同条第2項）

#### 2 猪苗代町教育委員会の点検・評価について

##### （1）点検・評価の対象根拠

猪苗代町教育委員会基本目標に基づき、令和4年度の重点事項の執行状況を対象とした。

##### （2）令和4年度重点事項

別紙の通り

##### （3）評価の具体的な方法

①事業名

②項目

③達成目標・内容（数値目標）

④点検・評価（自己評価）

⑤有識者による意見・評価

##### （4）学識経験者の知見の活用

点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることにより、客観性を確保するためのものであり、猪苗代町教育委員会の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱に基づき、3名の委員の方々から様々な意見・指導を得ることができた。

① 外部評価開催日：令和5年8月22日

② 猪苗代町教育委員会外部評価委員 3名

#### 3 点検・評価の結果

別紙の通り

## 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

## 1 教育総務課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備		
事業名	1. 学校施設の長寿命化と適正配置		
主要項目	①町教育施設適正配置の推進 ②感染症対策等の学校教育活動継続支援		
自己評価	統合中学校が令和4年4月に開校し、屋内運動場整備工事が令和4年5月に着工した。また、小学校の統廃合についても行政区長を対象に説明会を開催し、小学校2校に統合して、校名を猪苗代第二小学校とすることで提言書のとりまとめを行った。小学1年生から小学3年生を対象としてタブレット端末の整備を行うとともに空気清浄機26台の整備が図られた。		C
外部評価	学習環境の安全・安心・快適性は重要であり、きめ細かく事業を進めてほしい。統合して良かったと言ってもらえるよう取り組んで頂きたい。		C
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援		
事業名	1. 児童生徒に夢と希望を与え、生きる力の基礎を培う学校づくりの推進 2. 国際化、情報化等（変化）に対応する教育の実践 3. キャリア教育の推進 4. 生徒指導の充実		
主要項目	①存在感(特色)のある、学校づくりの実践、②「私たちの誓い6ヶ条」運動の実践 ほか		
自己評価	町特別支援教育アドバイザーの配置により、特別な支援を必要とする園児児童生徒の支援のあり方について助言を行うことができ、キレ目のない支援を推進することができた。各校では、ALTを派遣することで英語学習や外国語活動において担任をサポートし、より専門的な見地から児童生徒の支援をすることができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、活動内容が制限されたものの、体験したことをもとにキャリア・パスポートを作成し、キャリア教育を推進できた。「猪苗代町いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止の取り組みを行った。いじめの認知件数は昨年より増加したものの、学校との情報共有や指導助言、スクールカウンセラーの活用により重大ないじめ案件には至っていない。		B
外部評価	学校は色んなことをお願いされるが、減ることはない。それぞれの活動において担任の先生が携わることは多く、担任の先生は大変で教員のなり手不足ということが言われるので、活動についても精査して頂きたい。また、小学校が統合になっても支援員を減らさないでほしい、図書の有効活用をお願いしたい。		C
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援		
事業名	1. 一人一人に確かな学力をつけさせる授業づくりの実践 2. 各学年、学級、個人の学力実態把握による授業改善の実践・支援 3. 一人一人の学習意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践		
主要項目	①個人研究、校内研究の推進及び町学力向上推進事業による授業研究会、学力検査の実施と結果の分析・活用 ほか		
自己評価	コロナ禍のため、授業研究会は町内の教職員に限定し、感染症対策を講じながら開催した。また、要請訪問や合同授業研究会では、指導助言を通して教職員一人ひとりの授業力向上を図ることができた。町内小中学生の学力は調査結果によって違いがあるものの概ね全国平均であるといえる。国語科においては、考えの根拠を示したり話し合いを通して自分の考えを広げたり深めたりすることが出来る授業を目指している。算数・数学科においては、基礎的・基本的な数学的・技能の向上を図るとともに、数学的な見方・考え方を押さえ、児童生徒が解決方法を説明したり、次につながる考え方や知識を身につけられるようにしたりすることができる授業を目指している。スペリングコンテストや各種検定を実施することにより、学習の基礎基本の定着を図り、目標をクリアすることで学習意欲を高めたり自信をもったりすることにつながった。		C
外部評価	学力検査は、子ども達が自分の伸び、喜びを感じられることが大事である。家庭でも協力しながら子ども達がいやだ、苦手だということで意欲をなくさないよう、学ぶ充実感をもって大人になっていけるよう引き続きの指導をお願いしたい。学年によって違いがあり低いところや弱いところは何かということでも精査してほしい。		C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援		
事業名	1. 児童生徒の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による児童生徒の健康増進 3. 災害等緊急時の対応や放射線健康リスク管理に関わる危険予知・対処・回避能力の育成		
主要項目	①体力運動能力の増進、各種大会参加補助 ②食育の推進 ③交通安全教室や放射線教育の実施 ほか		
自己評価	本町の子どもたちの体力、運動能力の実態調査では、体力合計点5段階評価の下位層の割合は残念ながら減少が見られなかった。小学男子20.0%（R3 15.0%）、小学女子13.0%（R3 10.0%）「体力合計点」は小学校、中学校ともに全国及び県平均を上回っている。朝食の摂取率調査（年2回）の結果、小学校98.9%（R3 99.4%）中学校92.5%（R3 99.6%）平均95.7%（R3 99.5%）であった。各小中学校の緊急時対応マニュアルの取り組みにより、災害時の対応について学ぶことができた。また、通学路の点検を行うことにより児童生徒に危険箇所の注意喚起を図ることができた。		B
外部評価	教育委員会の指導主事が各校を回って体育の指導をしていることは町独自の取り組みで素晴らしい。早寝早起き、朝ごはんは重要であり、家庭と連携して行ってほしい。小学校統合により、スクールバスなどになると体育以外での運動が減ってしまう。		B

評価基準	自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
	外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下

## 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

## 2 こども課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備		
事業名	1. こども園施設整備・修繕、教育保育備品整備事業		
主要項目	園児等の快適な教育環境を維持するため、施設の整備・修繕及び教育備品等の整備を行う。		
自己評価	ひまわりこども園は開園7年目を迎え、防犯カメラレコーダーや給食室の食器洗浄機等に不具合が発生したが、適宜、修繕を実施するとともに、備品整備や保育室の畳表替えを行い快適な教育・保育環境の維持に努めた。さくらこども園は開園11年目を迎え、給食室の湿温蔵庫や沐浴室のサーモスタット混合水栓等に不具合が生じたが、適時、修繕を実施するとともに、備品整備や保育環境の維持に努めた。		C
外部評価	子供たちが快適に安全・安心に過ごせるよう努めて頂きたい。今後も漏れなく修繕をお願いしたい。		C
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児に夢と希望を与え、生きる力の基礎実現を培う園づくりの推進 2. 変化に対応する教育保育の実践 3. 指導の充実		
主要項目	①存在感（特色）あるこども園づくりの実践②特別支援教育の推進 ほか		
自己評価	施設周辺の住民や自然に触れ合いながら教育保育を実施した。また、農作物を育て、収穫し、食するという体験を通して食べ物の大切さを学習し、さらには情操教育の一環として茶道教室を開催して正座や作法、礼儀を学ばせるなど、特色ある教育保育活動を実施することができた。特別支援が必要な子どもには専属で保育教諭を配置して対応し、障がい児支援の研修にも積極的に参加してスキルアップを図った。毎年、特別支援を必要とする子どもが増えており、体制強化を図る必要があるが、支援にあたる保育教諭の確保が困難な状況にある。集団での遊びや当番活動により、友達との信頼関係を深めるとともに人と人の関わり方を育んだ。		C
外部評価	特色ある教育保育活動の体験型が増えて良かった。様々な年代の方との交流することで、豊かな人格形成が図られるので引き続き実施してほしい。こども園で虐待の兆候を発見するということは、これからもあると思うので、関係各機関と連携をとってきめ細やかな見守りをしてほしい。		C
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援（学びの連続性がもてる保育環境作りの実践、支援）		
事業名	1. 一人一人に確かな学びの基礎を培う教育保育の実践 2. 一人一人の学びの意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践		
主要項目	①共通テーマに基づく研究の実践、研修参加推進 ②幼小の円滑な接続の重視 ほか		
自己評価	少ない研修機会に多くの保育教諭が参加し、講演や他園の研究事例等を学習することにより、研修で得た知識を他の保育教諭と共有し、教育保育の現場での実践に役立てた。年長組が小学校へスムーズに入学できるように、交流事業、体験入学や保育教諭と小学校教諭との引き継ぎ面談を行った。特別支援が必要な子どもの就学については、小学校、教育総務課及び保護者と連携を取り対応した。笑顔で元気に園生活を送ることを目標に、毎朝、リズム体操を実施し、活発な行動を促した。また、絵画コンクールに出品することで、絵を描く楽しさ、豊かな感性と表現能力を培った。		C
外部評価	先生方が研修会で情報交換を行い自己研鑽して、子供達に還元してほしい。小学校との連携ということで、園から小学校へ行くことで環境が変わり慣れるまで大変であることから、連携をもってスムーズに入学して小学校の生活に馴染めるよう今後も尽力頂きたい。		C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による園児の健康増進 3. 災害時緊急時の対応や危険予知、対処・回避能力の育成		
主要項目	①体育的行事の充実 ②「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実践 ほか		
自己評価	園庭や遊戯室を有効に利用し、日ごろから体を動かす遊びを取り入れて健康で元気な体づくりに努め、運動会ではその成果を十分発揮することができた。また、毎日の園生活を元気に怪我をしないで過ごすために、朝のラジオ体操やリズム体操を実施し、基礎体力の向上を図った。早寝・早起き・朝ごはん運動（園児の朝食摂取率100%）を推奨し、子どもたちが家庭や園で元気に過ごせるよう、生活リズムを整える重要性を保護者に周知した。避難訓練では、防災ずきんを活用するなど毎月様々な災害を想定し、それぞれに応じた回避能力を育成するよう努めた。		B
外部評価	朝食の摂取率100%は素晴らしい。避難訓練は大事で小さい子供たちであることから、とっさの時に訓練しておけば身に付いた行動がとれるようになる。園児の体力、運動能力の増進ということでこども園の体育的行事の充実ということで運動会等様々な体力増進を今後も継続してほしい。		B
重点事項	「家庭の教育力」の回復		
事業名	1. 園、学校・家庭・地域社会の連携、協力体制の構築、推進		
主要項目	①こども園PTAによる各種事業、活動の推進 ②広報活動の実践 ③子育て支援 ほか		
自己評価	行事の運営にあたっては、多数の保護者の協力を得て、運動会や保育発表会などスムーズな運営をすることができた。朝夕の保護者との連絡・報告、園だよりの発行、連絡帳の活用等により信頼関係を構築することができた。また、子育て相談は、家庭事情や障害に関連するケースなど内容が多様化・複雑化しており保健福祉課や関係機関と連携して対応した。		B
外部評価	地域の方々と保護者との良好な関係を築いていることに感謝申し上げる。多様化、複雑化している子育て相談は、一つ一つ丁寧に対応してほしい。過剰な要求が問題になっている面もあるが、教育委員会に相談するなど適切に対応してほしい。保護者の送迎について、安全運転を周知してほしい。		C

評価基準

自己評価 A：大きく上回る B：やや上回る C：目標達成 D：やや下回る E：大きく下回る

外部評価 A：期待以上 B：やや上回る C：期待どおり D：やや下回る E：期待以下

## 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

## 3 生涯学習課

重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	1. 生涯学習の推進		
主要項目	①学習機会と情報提供、相談体制の整備 ②世代間交流事業の充実 ほか		
自己評価	新型コロナウイルスにより、中止した講座やイベントもあるが、感染予防対策や実施方法等について関係者で協議し、可能な限り開催した。放課後子ども教室については、コロナの状況を見据えながら学校や児童クラブなどとも検討を重ね地域住民のご理解ご協力により、安心・安全な体験を提供するように努めた。	C	
外部評価	これからも多くの町民の方が参加したくなる講座を企画してほしい。講座が学ぶきっかけ作り、これからの生涯学習とはこのようなことである。	C	
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	2. 図書歴史情報館（和みいな）利活用の推進		
主要項目	①図書館サービスの充実 ②歴史情報室の利活用 ほか		
自己評価	年間の来館者数、貸出冊数ともに前年を上回る実績となり、目標を達成することができた。読み聞かせについては、新型コロナウイルス感染症の波があり、こども園、児童クラブでは予定どおり実施することが出来なかったが、一部の児童クラブでは読み聞かせを開催することが出来た。ブックスタート事業、こども園や児童クラブなどへの図書の貸し出しについては、通常程度行うことができた。また、只見線全線開通応援として開催した写真展等には町内外から多くの来館者を集客することができた。	B	
外部評価	来館者、貸出数の増加は評価できる。アイデアある企画展の開催により、猪苗代町を訪れた方が増えたことは嬉しいことで、今後も猪苗代に来たくなる魅力ある企画展を開催するよう取り組んで頂きたい。	B	
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	3. 文化財の調査・保存・活用事業の推進		
主要項目	①史跡の調査、保存・活用 ②民俗資料の調査、収集・活用 ③埋蔵文化財の調査 ほか		
自己評価	県指定史跡である猪苗代城跡附鶴峰城跡を国指定史跡とするため、文化庁の指導を受け事業を進めている。猪苗代町歴史民俗資料館は4月に開館し当初目標300人を大きく上回る956人となった。また、会津藩主松平家墓所石造物保存事業等文化財の適切な保存に努めた。	C	
外部評価	文化財保護というところで、国指定史跡を目指すのであれば専門職の人員確保をお願いしたい。歴史民俗資料館は校長先生方に資料とその活用を説明して、学習利用してもらいたい。	B	
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	4. 生涯スポーツの振興		
主要項目	①町民を対象にした各種大会や教室等の充実 ②総合型地域スポーツクラブの活用と体力の向上 ほか		
自己評価	各種大会や教室等の充実については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、町民球技大会、町民運動会は中止とした。町民球技大会・町民運動会については、開催方法等の検討が必要ではないかとの意見もあることから、見直しも必要と考えている。総合型地域スポーツクラブの会員登録数は381名であり、それぞれの活動を行っているが新型コロナウイルス感染症による運動不足解消者が増加し、スクールコース参加者は増加した。スポーツ少年団指導者の育成、各種セミナーや研修会の参加、公共スポーツ施設の整備、健康運動教室の開催等、生涯スポーツの振興に努めた。ホストタウン事業として駐日ガーナ大使館の協力を得て、猪苗代町体験交流館において交流イベントを開催しました。	C	
外部評価	猪苗代町を背負っての各種競技での活躍大変誇りに思う。猪苗代町はスポーツ振興の町でもあることから公共スポーツ、施設の充実を図ってほしい。また、町外利用者（合宿等）の増加を図ってほしい。時代で変わるものと変えない方がいいものを精査してほしい。	C	
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	5. 文化活動の推進		
主要項目	①町民主体の文化活動の充実 ②体験交流館（学びいな）の利活用の推進		
自己評価	新型コロナウイルスの影響により演劇や映画などを劇場で鑑賞する機会が減っているため、「ファミリーシアター」の開催は有効かつ好評であった。新型コロナウイルスの流行によって体験交流協会などの事業は中止や縮小したものもあるが、定期的に開催する学びいなの協働清掃等を通して会員が交流し、語り合える機会を設けた。今後も団体の活動意欲が衰えることがないように見守り、支援しながら生涯学習の振興と啓発に力を入れていきたい。	C	
外部評価	文化活動もスポーツ活動と同様に大事であり、今後も町民の文化活動支援をお願いしたい。各種クラブが単独で発表してはどうか、発表の機会と町民への情報発信をお願いしたい。	C	
重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	6. 地域を担う人材の育成		
主要項目	①絆づくり事業による交流の充実		
自己評価	「母から子への手紙」は、前年度応募者に対するPRハガキ送付に加え、問い合わせの対応に配慮したため、概ね目標どおりの応募総数となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、懇親会は中止したが、それ以外でのおもてなしを徹底し、概ねご満足いただいたように感じた。次年度以降も交流活動等を通して、心の育成を図ってきたい。また、「思い出の絵手紙」では、新型コロナウイルスにより生活を制限された子どもたちが、思い出を見つけて描いてくれたことを嬉しく感じた。今後も関係機関と協力しながら心身の健全育成に努めたい。	B	
外部評価	応募数や来場者数は目標を若干下回っているが、継続することが力になるので、引き続き事業継続をお願いしたい。若い方に猪苗代町の良さ、ここが好きといった色々な切り口により、町に対しての愛着を刺激するような題材のイベントがあっても良いのではないかな。野口英世博士と母との絆をずっと繋いでいってほしい。	B	

評価基準

自己評価 A：大きく上回る B：やや上回る C：目標達成 D：やや下回る E：大きく下回る  
 外部評価 A：期待以上 B：やや上回る C：期待どおり D：やや下回る E：期待以下

